

中秋明月祭 大阪 2010

Moon-Festival OSAKA2010

中秋明月祭 大阪 2010 開催にあたって

実行委員会委員長 戦 松茂

月の満ち欠けで時を刻む太陰暦,その8月15日に名月を觀賞する習慣は、10世紀頃中国から日本の宮中に伝わり、その後江戸時代には庶民の間にも広がってきたと言われていています。今年2010年の中秋の名月は9月22日がその日にあたります。

中国ではいわゆる旧正月の「春節」と同様に最も盛んな節句の一つで「中秋節」(Zhongqiujie)と言います。

この中秋節は、中国ではこの日に家族、友人が集まり、杯を傾け、幸せを謳歌し、遠く離れた人々を思い、共に同じ時を楽しみ祝います。そのため家族団らんを意味する「団円節」(Tuanyuanjie)とも言います。

昨年に続き今年は2回目の明月祭となります。中国では上海万博が開催され、益々関西地域と上海の経済関係と文化の交流が盛んになり、深化してゆくことは確実であります。前年の経験を踏まえ、関西地域の日本の方々、在住の全ての人々、華僑華人の仲間達と共に、中国を中心とした食、催し物、案内等を楽しんでいただきたいと思います。

出来るだけ本年は皆様と一緒に参加、体験が出来る催しを目指し、感動と交流を通じて、みんな同じ仲間になっていただきたいと思います。そこでこの明月祭を「和=輪をつなぐ」祭りとして位置付けたいと願っています。私たち実行委員だけでなく、広く関西地区の皆様との「和=輪」をつないでゆきたいと念じています。よろしく願いいたします。

